

**広島県看護協会から災害支援ナースを
いしかわ総合スポーツセンター、小松総合体育館に派遣
(2024年1月26日掲載)**

「1.5次避難所の立ち上げと活動体制構築」

マツダ株式会社マツダ病院 船田健一

初日は予定されていた小松総合体育館は、天候不良のため自衛隊機搬送が出来ず、被災者受け入れが出来なくなり、急きょ、いしかわ総合スポーツセンターへの派遣となった。避難所では多くの避難者が生活されており、医療福祉団体として災害支援ナースをはじめ、DMAT、JMAT、DRAT、DWAT、子供支援団体などが活動していた。1日目は前班との引き継ぎを行い、リーダーの選出と指揮系統の確認を行なった。



2日目からは1.5次避難所の小松総合体育館へ、山口県災害支援ナース4人と計8人で派遣開始となった。小松総合体育館では災害支援ナースをはじめ、行政、地元医師会、JMAT、保健師と連携し活動した。

私は災害支援ナースのリーダーとして、安全と健康管理、支援活動を円滑に行えるようにCSCAを意識して活動した。現地の石川県看護協会3人と指揮命令系統と役割を確認し、活動拠点を確保、2交代の勤務を決定。被災者の受け入れを開始するに当たり役割分担や有症者トリアージのシミュレーションを行い、PDCAを回し多職種と課題解決していった。被災者へのラウンドや内服指導、健康相談や傾聴、医師への報連相、必要時救急搬送を行なった。感染症のある被災者もいるため、ゾーニングや動線を決め、環境整備を行う事で感染拡大防止に努めた。また、本避難所の先遣隊で活動基盤を整えるため、連絡指揮図、スタッフ業務マニュアル、日勤・夜勤スケジュール、リーダー業務マニュアルを作成した。

このたびはチームの災害支援ナースの対応能力の高さに支えられ、無事安全に派遣任務を終える事ができた。被害を受けられた方々へお見舞いと、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

2024年1月18日 第1陣出発式



活動の様子



